移轉廣告

外科
性病科
×光線科
入院隨意

平町田町(赤心堂病院跡)
安齊外科醫院
電話四七五番

可愛らしいお子様の爲

服洋供子
シャツ
毛
オーバー

帽子
エプロン
マント

新らしい品取揃

電353番

七五三の特價賣出し

五丁目
モリタヤ

いや……君、見違ひたよ
いゝ洋服を求めたね
いやコレカネ……
例の「ソレ」
正札堂さ
アハヤ……

平町停車通り
正札堂

◇主治効能どんな難癪でも淋なら
三日のんだらピツタリとまる
治淋新劑
トリプチン
定價　三日分　金壹圓、　七日分　貳圓
トリプチン特約一手販賣店
大平屋藥店
電話六四二番
如神効驗、病苦即除、一度ためして其眞價を知るべし

移轉披露
濟命ピリン本舗
平町一丁目
(仙台屋呉服店前)
此度研町より一丁目に移轉しました
12月14 15 16
三日間 組景 進呈
大賣出し
保健と相談
濟命堂水野藥局

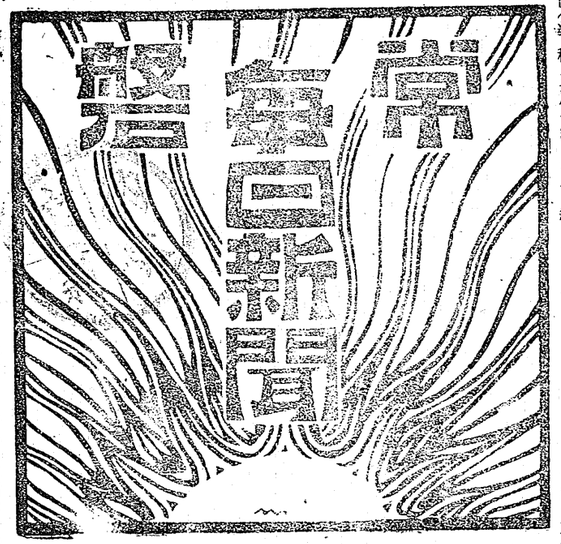
季節向
毛糸の大廉賣
糸類・玩具・學用品卸小賣
森下商店
平町一丁目

大福引付時計大廉賣
奉仕的に！大犠牲を拂ひ!!
弊店にて金五圓以上の時計御買上の御客様に對し左記大當り福引券漏なく差上げます
一等　拾八金側　スヰス製　腕卷時計　五本
二等　銀側　スヰス製　懷中時計　二〇本
三等　銀側　スヰス製　腕卷時計　七〇本
四等　銀側　スヰス製　小形懷中時計　一〇〇本
五等　ニツケル側　スヰス製　小形懷中時計　二〇〇本
六等　正確無比の小形置時計　四〇五本
全部空籤なし賣切の節は何時にも打切ります
賞品は全部賣品の新品にて保險付
期間　十二月十五日より十二月參拾一日まで
常盤屋時計店
平町一丁目(電話三三九番)

例年の通り吉例謝恩大興行
十九日替り
澤田清……熱演
塚原小太郎大會
前後篇全部上映
新井淳　佐々木清野
終列車の女
詩味豊溢人生哀詩
日活　松竹
平館
入場料　特等　金十錢　貳等　金廿錢　壹等　金卅錢　均一
原齒科醫院
平町上橋通り電話三二番

(一)　大正十二年十一月八日第三種郵便物認可　常磐毎日新聞　(第一千七百七十三號)

日刊
發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
本社ト同番地(電話六三〇番)
印刷所　常磐毎日印刷所
定價　一部金貳錢　一ヶ月前金壹圓　郵稅五厘
廣告料　一字詰一行五十錢
休刊日　毎月一日ノ翌日
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話六三〇番



十二月十九日夕刊

平町紺屋町
安齊外科醫院

昭覺院本日葬送の際は遠路の處御會葬被成下殊に御叮重なる御香奠を辱ふし難有御厚禮申上候實は早速拜趨御禮可申上之處混雜中に付乍略儀以紙上御禮迄如斯御座候
十二月十九日
根本品藏
外親戚一同

體溫器
寒暖計
關大藥局
電四〇番

内羅專門妙藥
愛馬散
小野屋藥店

看護婦派出の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

昨夜運轉手風の男が御台境踏切で虫の息

汽車に突き飛ばされて ▽……泥醉の結果か

昨夜九時頃石城郡内郷村大字御台境踏切にて廿四五歳の男が下り列車に突き飛ばされ頭覆骨を粉碎腦漿を露出して虫の息なりしを通行人が發見平署に届出たが同人は黒ラシャズボンに茶色のオーバーを着し一見運轉手らしきも何れの者とも判明せず多分泥醉の結果誤つて列車に跳ね飛ばされしものゝ如く懐中には現金十圓八十一錢及び「千葉縣茂原町字高師内山三藏樣、誠より」と表書のみを認め文面を書かないハガキを手懸りに身元調査中因に生命は覺束ないと

内郷 公私緊縮 委員の協議

石城郡内郷村では昨日午前九時より同村議事堂に公私

赤井驛前の櫻綻び初む

古老でさへも、汗をふき〳〵こんな陽氣は何年にもないと目を丸くして驚いてゐた　二三日前のあの馬鹿陽氣のために平町松ケ岡公園の梅は一技二技ほころびたのもあるが赤井驛の四季櫻の如きは全部綻び奇觀を呈して居る

經濟緊縮實行委員二十一名集合し委員會を開き左記事項を評議した

一、時間期限の勵行
二、婚儀、祝會祭事、年賀廻禮、年始、中元、歳暮の廢止、葬祭虚禮廢止

尚閉會後座談會を開き時事問題等に關し意見の交換を試みた

税務監督局の納税涵養映畫 平町其他で

石城郡内に於いての納税狀態は滯納等が増加成績香しからぬ爲め平税務署主催となりこれが改良策として此の農閑期を利用し左記日割を以て仙台税務監督局の映畫を取り寄せ映畫利用の講演會を開催し納力納税思想涵養に努むる事になつた

平町一月十六日、小名濱
同十七日、内郷村同十八日

近日中に正式に回答 電燈値下問題

平町に於ける電燈値下げ問題はさきに委員が上京會社側と交渉を試みた際會社側としては即答をさけて追つて回答する旨を委員連に口約したので委員側ではこれを諒とし一まづ引上げたがその後會社側から何の音沙汰もないので委員連は再び上京すべく寄々協議をすゝめてゐたところ十八日同社橋本社長から近々中に重役兩山龜太郎氏が正式の回答文を携へて來平することゝ伏見平町長宛に通知して來たので伏見町長代理

技工手が入齒代で遊興 新葛で藝妓に現を拔かす

石城郡内郷村大字内町宮藤田八久野常吉(三九)は去る十月十日同村綴字一ノ坪三六佐川渉齒科醫院出張所に雇はれ技工手として働いて居たが十月より十一月の間に數回に亘つて診療料金五十九圓五十錢を横領し湯本町料理店新葛屋に登樓藝妓遊びに費消した事を此度平署員の探知する處となり取押へられた

第三方部女子青年總會 昨日平舘で

既報石城郡第三方部聯合女子青年團第二回總會は昨日午前九時より平町平舘に於て開催されたが會員約七百名集合し開會の辭に次いで會員阿部輝子さんの『婦人の力』と題する演説又草野ニキ子さんの演説あり續いて本縣社會教育主事管野乾氏は『女性史の概觀』と題して二時に亘る演説をなし餘興として映畫『地球は廻る』があり午後二時盛會裡に閉會した

平農會其他 馬耕の競技 鎌田で開く

平町農會及び神谷村農會夏井村農會聯合し明日午前九時より平町鎌田町附近の田地にて馬耕競技會を開催するが石城郡農會より柴田技手出張して審査する由

遠藤助役は直ちに委員連へ右通知をなしたが會社側が如何なる回答をなすかは極めて興味ある問題とされてゐる

家庭欄

シス足袋の光澤を落さない洗濯法

繻子足袋は一體に色が落ち易く一度で光澤を落としますが、洗濯するに先だち先づ明礬か丹礬の薄い液に暫らくつけて染料を固着させてから一パーセント以下の濃さの石鹼液で裏と底とをハケで洗つて置くに止めた方が良いのです、十分水洗した後醋酸の極く薄い(〇、五パーセント位)液につけて押しぼつてその儘干かします、繻子足袋に限つてアイロンをかけます、たゞへチマンといふ黒色染料で染めた足袋は變色しますからこの足袋は醋酸處理を省きます

◇野バラは脚氣の妙藥　野バラの實を煎じて呑みますとどんな脚氣でもなほります、毎年飲んでゐると共然起らなくなるそうです

本日强盜犯人捕る 豫て手配中のもの

本日正午頃石城郡内郷村大字宮地内にて平署猪狩刑事が一名の壯漢を捕え同署に引致したが、右は山崎義光(三一)とて過日水戸在にて强盜を働き行方を晦したる爲め手配中の所であつたと

△　▽

玉川村の小作人騒ぐ 村長が調停

石城郡玉川村の小作人十三名は減收を理由として小作米の三割引を要求し兩者間に物議を釀してゐる事は既報の通りであるが其後小作人側は一同連署の上本縣小作官丸山太郎氏へ陳情する所あり地主側は村長駒木根忠三氏に調停方を一任したので駒木根氏は小作人の代表と會見一割五分まで讓歩したが小作人側は頑として應ぜず丸山氏の觀察如何を注目されて居ると

平町人事

▲出生
△南町一　大谷松芳氏長女マツ子

▲婚姻
△六間門二〇　會社員眞木一郎氏(二九)石城郡内郷村大字高坂字仲平十四江尻貞子(二三)

平署の歳末警戒 非常召集を行つて

平警察署では歳末になつて種々の犯罪が増加して來たので速日特別取締をなしてゐるが十七日には平町に於ける藝妓屋、飲食店、料理屋、宿屋等の各營業者を同署に集め歳末に際して營業者の實行すべき事項を訓示したが同署では近く署員の非常召集をなし歳末取締の徹底を期し犯罪の防止をなす由である

平町人口動態 男女殖と同數

平町に於ける本年十一月現在の人口動態を見ると戸數は四千七百十一戸、人口男三千六一萬百一名、女一萬三千五百九十六名で男女の數が殆ど同數であり女が男より倍以上多い我國の平均より見るとむしろ珍しい現象である、之を前年に比較すると戸數は四十三戸、人口に於て男百十六名、女七百九十二名の増加を示してゐる、人口が九百八名の増加に對して戸數が四十三戸しか増加しないのは片倉製糸工場が新設され女工が多く入り込んで來た關係である、尚ほ此人口を本籍並に寄留者と區別して見ると本籍者は一萬一千二百八十名寄留者は一萬五千九百十七名で寄留者は本籍者より四千三十七名多い譯である

兎の耳

盲とつんぼと二人で東海道を彌次喜多旅行　盲人とつんぼの東海道彌次喜多旅行をする話

築地盲人技術學校の生徒福岡豊、岡村泰の兩君は冬休みを利用して來る二十日宮城前を振りだしに二十日間の豫定で笛と杖を頼りに東海道の町から村、村から町をあんまビーとばかりにもみ療治をしながら徒歩旅行をつゞけるはずで福岡君は身心鍛錬の目的のためですもし成功すれば來年の夏休みは青森から九州まで本州一周旅行をしようと思つてゐますといつてゐる

磐中の同窓會

平町磐城中學校同窓會は一月三日午後五時より平町住吉屋本店に開かれる

明日の天氣豫報
北西の風　晴れたり曇たり時により雨模樣

例年の通り
▼新年エハガキ
▼文字ハガキ
▼カレンダー　カルタ、トランプ
▼當用日記　懐中日記
マルトモ　平町四丁目　柴田書店　電話二三四番　九〇五番

時計　指環　常盤屋　平壹電三三九